

令和6年度 自己評価結果公表シート 健生保育園

1. 保育園の保育目標

<ul style="list-style-type: none"> ●健康な身体（からだ）作り ●優しさと思いやりを育む ●豊かな感性（感情）と創造力を養う ●忍耐力と行動力を身につける ●毎日を笑顔で過ごす
--

2. 本年度取り組む重点目標

保育 内容	① 異年齢保育のメリットを十分に活かして年齢の枠を超えた交流や関りを増やし子供たちの主体性や協調性、優しさを育ていく。
園運営	② 保護者に園内外の活動が把握しやすいように、細かく情報の提供を心掛け、写真や園便り等で普段の様子や生活が把握しやすいよう心掛ける。
	③ 職員間での情報共有のやり方をスムーズ、周知に至るよう心掛けていく。

3. 重点目標達成に向けての具体的な計画

保育 内容	① 決まったクラス単位での活動ばかりではなく、乳児、幼児での関りが持てるような取り組みを増やしていく。年中、年長などが乳児に読み聞かせ、唄を歌う等
園運営	② 決まった月に情報提供ができるように定期的に写真など保護者がわかるように情報提供ができる様心掛ける。
	③ 日誌、会議等で参加できなかった職員がいても理解、聞き漏らしのないように紙面、ICTを使用し全職員で周知できるよう心掛けていく。

4. 重点目標の達成及び取組状況

A: 十分達成されている B: 達成されている C: 取り組まれているが、成果が十分でない
D: 取り組まれていない

評価項目	結果	理由
①	B	夕方保育時間などで異年齢児の関わりは多くみられるが、もう少し異年齢の関わりを行事に盛り込んでいくことを増やしていけたと思う。時々、5歳が0歳との交流を持つ等異年齢ならではの良さをもっと出していきたい。
②	C	取り組むことはできていたが、情報発信が不十分な月もあり、保護者への理解が難しかった。提供時のテンプレートを作成するなどして、提供の簡略化を図っていく。
③	C	朝番、遅番、会議に参加できない時間帯の職員への情報伝達が不足してしまうことが多かった。サイン漏れや閲覧漏れもあったので、その都度チェックをし、習慣化を義務付ける。

5. 総合的な評価

評価項目	評価内容
作品展アンケート 回収率: 100%	<p>評価: 全体的に保護者からの評価は良好で、自宅でも作品展の話がよく出ており、協力して作った作品、個人で作った作品どちらも楽しんでいた様子が見られた。</p> <p>課題: 観覧時間について数名保護者から口頭で改善を求められることがあった。</p> <p>改善策: 観覧時間については、閉園の時間は決まっているため、観覧時間を増やすことは現実的ではないので、もっと早めに観覧日を伝えて時間調整をお願いなどしていく。(土曜日もお昼まで開催してる)</p>
運動会アンケート 回収率: 100%	<p>評価: 運動会については、保護者から成長を感じる等のお声をいただくことが多く、保護者の方も楽しく参加できた等の回答を多くいただいた。</p> <p>課題: 体育の時間が少し長く感じた等の回答をいただきました。自分の番までの待ち時間の改善の必要性を感じた。</p> <p>改善策: 体育の時間については、普段の子供の体育の時間を行っているため、保護者を楽しませるためではなく、子どもの普段の様子を知ってもらうための内容ということを周知し理解していただく。</p> <p>・自分の番までが長すぎて集中できる時間に限りが出てしまうため競技に参加できる人数を増やしたり、内容の時間を改善していくことが必要。</p>

<p>年度末 保護者アンケート 回収率:100%</p>	<p>※別添アンケート結果参照</p> <p>評価:行事、園生活一年間楽しめたことの記載が多かったです。一年間で成長できたこと、話せる内容が増えたこと等充実した園生活を送れたことが多かったです。</p> <p>課題:アンケートの回答の閲覧方法の周知が足りなくて、未確認の保護者が少数だけ見られた。</p> <p>改善策:引き続き保護者からも信用を得られるような、保育を継続していきます。</p> <p>アンケートの閲覧方法がわかるように、アンケート用紙にも記載をしていく。</p>
<p>自己評価(園用)</p>	<p>評価:今年度は保護者、近隣住民等からのクレームや苦情はなく、近隣の方との交流も図れることが多くなった。(農園で収穫した野菜や果物を配布しながら活動を伝えていく。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢での保育活動に関しては、各学年の壁を払って一緒に保育園生活を楽しむことができた。 ・他園との交流に関しては昨年度よりも積極的に行うことができ、作品展や発表会などの行事でもスムーズにできていた。 <p>課題:職員間でのコミュニケーション不足で『報連相』の不備が多くなってしまったことがあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に合った遊び、異年齢で交流できるような活動を計画し、実践していく。 <p>改善策:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の専門知識や技能習得、意識を高めるために、積極的に研修に参加していく。得た知識や情報をアウトプットすることで、園全体の保育の質の向上に努めていく。 ・子どもたちの発育、発達過程の基本動作を理解したうえで、運動遊びを取り入れていく。多様な動きを行うことで基礎的な運動能力を高め、生活に必要な動きを育み、成功体験が自信につながるようにしていく。 ・保育園運営方法を記載し一つの目標に向かって職員全体が一体となって行えるようにしていく。